

令和5年度事業報告

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

公益財団法人永井科学技術財団の令和5年度(令和5年4月1日～令和6年3月31日)における理事長の業務執行および事業内容について、以下のとおり報告いたします。

1. 「令和4年度事業報告・決算報告」に関する事項

理事長は、令和4年度(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)の事業報告、収支計算書、貸借対照表、正味財産増減計算書・同内訳表、財務諸表に対する注記および令和5年3月31日現在財産目録の各案を作成し同4月27日に監事の監査・承認を受け、同日付で監査報告書を受領した。

なお、本内容は5月の理事会および6月の評議員会に付議された。

2. 「理事会」に関する事項

理事長は、令和5年5月16日付にて各理事に対し、下記の第1号から第3号の決議事項を提案し、令和5年5月22日までに理事全員から原案に対する同意書が提出されたため、提案全議案は原案どおり承認可決された。なお、理事長は同日付で理事会議事録を作成した。

決議事項

- | | |
|-------|--|
| 第1号議案 | 令和4年度事業報告の承認(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで) |
| 第2号議案 | 令和4年度収支計算書、貸借対照表、正味財産増減計算書および同内訳表、財務諸表に対する注記(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)ならびに令和5年3月31日現在財産目録案の承認 |
| 第3号議案 | 定時評議員会の招集 |
| | 令和5年5月25日付にて、各評議員に対して次の報告および議案審議のため定時評議員会を招集 |
| | 報告事項 |
| | 令和4年度事業報告(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで) |
| | 決議事項 |
| | (1) 令和4年度収支計算書、貸借対照表、正味財産増減計算書(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)および令和5年3月31日現在財産目録案の承認 |
| | (2) 令和5年度評議員一部改選の件 |

3. 「定時評議員会」に関する事項

理事長は、令和5年5月22日の理事会決議事項の承認をもって同5月25日付にて定時評議員会を招集した。これにより、令和5年6月8日に定時評議員会が名古屋市東区東桜1丁目14番25号のホテルオークラレストラン名古屋(Web会議同時開催)にて開催され、評議員13名、監事2名が出席のもと下記報告事項および第1、2号の決議事項について審議された。結果、提出された報告事項および各決議事項は原案どおり承認可決され、同日付で定時評議員会議事録を作成した。

報告事項

令和4年度事業報告（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）

決議事項

第1号議案 令和4年度収支計算書、貸借対照表、正味財産増減計算書（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）および令和5年3月31日現在財産目録案の承認

第2号議案 令和5年度評議員一部改選の件
評議員の齊藤公明氏（名城大学・前理工学部長）から辞任申し出があったため、児玉哲司氏（名城大学・理工学部長）を新たに選任する

4. 「役員変更登記」に関する事項

令和5年6月8日付の定時評議員会決議に基づき齊藤公明評議員の辞任ならびに児玉哲司評議員の就任登記を令和5年6月21日に完了した。併せて、当財団ウェブサイトに掲載した。

5. 令和5年度前期助成事業に関する事項

本件「科学技術育成教育助成金」、「企業家支援助成金」および「モノづくり実践支援助成金」については、令和5年4月1日～5月10日の期間で当財団ウェブサイトにおいて公募を行い、以下の応募申請を受け付けた。

- (1) 「科学技術育成教育助成金」・・・ 4件
- (2) 「企業化支援助成金」・・・ 1件
- (3) 「モノづくり実践支援助成金」・・・ 2件

6. 「選考委員会による審査および審議結果」に関する事項

本件については、前項における令和5年度前期助成事業の応募申請7件について、令和5年6月12日付で選考委員会を书面決議提案にて開催し、各選考委員の審議・審査の結果に基づき、以下の7件が採択され、理事会に付議することで決定された。

(1) 「科学技術育成教育助成金」

本件は、SSH 東海フェスタ2023（SSH東海フェスタ実行委員会 名城大学 附属高等学校）はじめ4件を採択

(2) 「企業支援助成金」

本件は、中部ニュービジネス協議会の企業化支援助成金（中部ニュービジネス協議会運営委員会 名古屋商工会議所）が申請する1件を採択

(3) 「モノづくり実践支援助成金」

本件は、愛知県立岡崎工科高等学校と愛知県立豊川工科高等学校の2件を採択
なお、同日付で、選考委員長より審議結果書の提出とともに選考委員会議事録が作成された。

7. 「助成金交付決定理事会」に関する事項

理事長は前項の選考委員会の決定を受けて令和5年6月15日付で各理事に対し、下記の報告事項および決議事項を提案し、令和5年6月28日までに理事全員から原案に対する同意書が提出されたため、提案議案は原案どおり承認可決された。なお、理事長は同日付で理事会議事録を作成した。

報告事項

令和5年度前期助成事業の交付選考の件

決議事項

令和5年度前期助成金の交付承認

助成金額については、以下の総額250万円と決定した。

(1)「科学技術育成教育助成金」

SSH東海フェスタ2023（SSH東海フェスタ実行委員会 名城大学附属高等学校）はじめ4件に対し、計160万円を助成

(2)「企業化支援助成金」

中部ニュービジネス協議会の企業化支援助成金（中部ニュービジネス協議会運営委員会 名古屋商工会議所）1件に対し、50万円を助成

(3)「モノづくり実践支援助成金」

愛知県立岡崎工科高等学校をはじめ2件に対し、計40万円を助成

8. 「令和5年度前期助成金交付」に関する事項

本件については、令和5年6月28日の理事会決議に基づき、各助成先に対して交付決定通知を行うとともに交付申込書の提出を求め、その申請に基づき開催日の1ヵ月前までに助成金を交付することとした。

9. 「理事会」に関する事項

理事長は、令和5年10月9日付にて理事会を招集した。これにより、令和5年10月24日に名古屋市内の「ホテル ルブラ王山」にて対面とWeb会議で開催した。

理事（9名）、監事（2名）が出席のもと下記事項が理事長より報告され、出席者全員に了承された。令和5年10月25日付で理事会議事録を作成した。

報告事項

令和5年度上期の事業報告および収支状況報告の件

10. 受賞者交歓会の開催に関する事項

理事長は、当財団の交流事業である「令和5年度受賞者講演・交歓会」を令和5年10月24日に名古屋市内の「ホテル ルブラ王山」で開催することを決定し、令和5年9月5日に受賞者および財団関係者に案内して開催した。

なお、講演会の講演者および演題は以下のとおりである。

・受賞者講演：国立大学法人 名古屋工業大学

大学院工学研究科 工学専攻 電気・機械工学系プログラム
准教授 前田佳弘 氏

演 題：「産業メカトロニクス制御の革新：データ駆動型制御設計による制御性能と設計効率の高度両立」

11. 「令和5年度後期公募（財団賞、奨励金、助成金）」に関する事項

令和5年9月1日～10月31日までの2ヵ月間、当財団ウェブサイトにおいて公募を行い、合計46件の応募申請を受け付けた。

(1) 財団賞の申請・・・・・・・・・・・・・・・・・・18件

(2) 奨励金の申請・・・・・・・・・・・・・・・・・・21件

(3) 助成金の申請・・・・・・・・・・・・・・・・・・7件

1 2. 「選考委員会による審査および審議結果（後期公募）」に関する事項

前項における令和5年度財団賞、奨励金、助成金の応募申請46件につき選考委員全員の査読審査を経た後、令和6年1月18日にWeb会議にて選考委員会を開催した。選考委員の審議・審査の結果、以下の39件が採択され、理事会に付議した。なお、同日付で、選考委員長より審議・審査結果書の提出とともに選考委員会議事録が作成された。

(1) 財団賞

学術賞に名古屋大学・井藤 彰はじめ7件、技術賞にあいち産業科学技術総合センター・永縄勇人はじめ3件、奨励賞に産業技術総合研究所・中山博行はじめ3件の計13件を採択

(2) 奨励金

研究奨励金に名古屋大学・佐藤隆太はじめ9件、融合研究奨励金に名古屋大学・金子真大はじめ4件、モノづくり試作奨励金に豊橋技術科学大学・宮下功誠はじめ2件、カーボンニュートラル研究に産業技術総合研究所・関 雅子はじめ5件の計20件を採択

(3) 助成金

国際交流助成金に名古屋工業大学・中村翔太の1件、大学院生海外研修助成金に名古屋工業大学・笹平拓寛の1件、大学院生国際会議発表支援助成金に大同大学・近藤史崇の1件、科学技術育成教育助成金に豊田工業高等専門学校はじめ2件、モノづくり実践支援助成金に豊川工科高等学校の1件の計6件を採択

1 3. 「理事会」に関する事項

前項の選考委員会による令和5年度財団賞、奨励金、助成金の採択結果に基づき、定款第39条第2項および第3項に則り、令和6年1月25日付にて各理事に対し選考委員会審議結果の報告とともに本件の決定についての議案を提案、理事全員から原案に対する同意書が提出されたため、添付資料に記載の交付対象者に助成することを令和6年2月1日付で承認可決した。なお、理事長は同日付で理事会議事録を作成した。

財団賞の交付金額は、学術賞100万円/件、技術賞50万円/件、奨励賞50万円/件の計1,000万円。

奨励金の交付金額は、研究奨励金50万円/件、融合研究奨励金50万円/件、モノづくり試作奨励金50万円/件、カーボンニュートラル研究奨励金50万円/件の計1,000万円。

助成金の交付金額は、国際交流助成金50万円/件、大学院生海外研修助成金50万円/件、大学院生国際会議発表支援助成金40万円/件、科学技術育成教育助成金2件で計70万円、モノづくり実践支援助成金20万円/件の計230万円。

合計2,230万円の交付として決定した。

1 4. 「令和5年度後期助成金の交付」に関する事項

令和6年2月1日の理事会決議に基づき、令和5年度財団賞、奨励金、助成金交付者に対し交付決定通知を行うとともに交付申請書の提出を求め、その申請に基づき各交付者に助成金を交付することとした。

15. 「令和5年度助成事業の実績等」に関する事項

当年度事業における財団賞、奨励金、助成金については、助成計画2,700万円に対し、総額2,480万円(46件)の助成実績となった。

16. 「令和5年度財団賞、奨励金の贈呈」に関する事項

本件については、令和6年2月1日の理事会決議に基づき、令和5年度財団賞受賞者および奨励金受賞者に対し、令和6年2月5日に各決定通知を発送した。なお、贈呈式は令和6年3月5日に名古屋市内の「ホテルオークラレストラン名古屋」にて行った。

17. 「理事会」に関する事項

本件は、令和6年3月5日に名古屋市内の「ホテルオークラレストラン名古屋」にて開催し、下記事項についての報告および議案審議を行い原案通り承認可決された。

報告事項

- (1) 令和5年度事業報告の件
- (2) 令和5年度収支決算見込み報告の件

決議事項

- 第1号議案 令和6年度事業計画の件
- 第2号議案 令和6年度収支予算の件
- 第3号議案 令和5年度余剰金を基本財産へ繰入れる件

以上